

スマピアメモリー

ピアからのおたより

～だれもが地域であたいまえに暮らせるように～

R7. 12月 vol.7

はっこうもと
発行元
しゃかいふくしほうじん
社会福祉法人こころ

〒428-0007
しずおかけんしまだしま
静岡県島田市島581-4

TEL0547-46-5561

FAX0547-46-5566

ピアサポートが社会を変えるセミナーVol.1 を開催しました！

2025年8月30日(土) 島田市金谷生きがいセンター 夢づくり会館にて、ピアサポートが社会を変えるVol.1を開催しました。当日は遠方からも多くのみなさんが集まってくださり、総勢108名の方がセミナーに参加してくださいました。今回は生き方にスポットをあて、精神障害があるからこそ・生きづらさがあるからこそ見えてくる、暮らしの中で感じる楽しさ・生きづらさ・やりがい・大変さを会場のみなさんと聴きあいました。

第一部 “粹に生きてる” 私たちの物語



2名の方から、それぞれの人生の中での、嬉しいことや悲しいこと、人との出会い、仲間に支えられた経験を語っていただきました。

第二部 シンポジウム「私、こんなふう生きてるよ」

4名の方がシンポジストとして登壇し、発病時の気持ちや現在の生活についてお話していただき、これからの社会へのメッセージも話していただきました。



“ピアサポートが社会を変える”

まさにその言葉通り、6人の方は自分の生き方を今回のセミナーでお話してくださいました。一人ひとり生き方はいろいろ、人生もいろいろ、そんないろいろな中で生きる私たち。今回のセミナーが“いろいろ”を認め合う第一歩となりますように。

イキイキ
粹
に生きる！
いろいろな生き方を認め合うために

たつまき ひさい かげつ けいか 竜巻による被災から 2ヶ月が経過。

いま おも 今、ピアスタッフが思うこと。

発災時、榛原事業所の1階のトイレにいました。今でもその付近に行くと恐怖感が蘇ります。自分では大丈夫だと思っけてもなかなか忘れられません。でもピアスタッフ同士や事業所スタッフ、仲間と声を掛け合うことで心が癒やされています。

被災後、らしく(B型)で働くことになりました。仲間達からの榛原事業所の様子を気にする声掛けや、作業を通じてのピアサポートに触れることで、ボロボロになった心と体が少しずつ癒されました。ありがとう。

それはピアサポートの大切さ。

今回被災したことを誰かに話していると相手が「大変な思いをしたのですね」と返してくれました。対話することで、少しずつ気持ちも楽になっていく感覚になりました。

被災後の2ヶ月間、計画相談の担当に同行し、入院している初対面の仲間の持っている力や優しい言葉掛けに励まされピアサポートを強く感じました。

そして、あたたかさ…。

島事業所のみなさんが榛原事業所に励ましのメッセージ書いて持ってきてくれました。仲間達からの温かい想いを感じることが出来て、気持ちが少しほっとしました。来てくれた方が「大変だったね」と涙を浮かべながら声を掛けてくれ、ピアサポートの大切さを再び感じる事ができました。

被災した時は絶望感でいっぱいでした。地活はぐるまが再開するまできやらふる(B型)で活動することになりましたが「大変だったね」「無理しないでね」等、仲間やスタッフから声掛けをしてもらい、心や気持ちがホッとした感覚がありました。

みなさん、ありがとう。

今こうして過ごしている日常はかけがえのないものであることを感じつつ、一日一日を大切に、これからも仲間たちと一緒にリニューアルした榛原事業所で過ごしていきたいと思ひます。またみなさんに会える日を楽しみにしています♪

